

つづやき

このコーナーでは各県の相談に対するとりくみ等を紹介していきます。

子どもと保護者のためのもしもし教育相談室 スタート!!(北海道)

=子どもの人権を守るために!=

北海道教職員組合は、深刻な社会問題となっている「貧困」による「教育格差」を是正し、一人ひとりの子どもの人権を守り、将来の主権者として成長することを願い、日教組とともに「子ども救援カンパ」のとりくみを行いました。また北海道教職員組合独自のとりくみとして「子どもと保護者のためのもしもし電話相談室」を開設し、様々な困難な状況や課題を受け止め、諸問題の解決に向け支援にとりくむこととしました。

12月17日から実質スタートしましたが、初めてのとりくみなので6人の相談員と北海道教職員組合の担当者は、岩手の電話相談員と教組担当の副委員長から話を聞く機会を設け(10月)、色々なアドバイスをいただきました。11月には教育相談全国研究集会にも参加し準備をすすめてきました。6人の相談員は、多少の不安はあるものの、相談者からの話をじっくり聞いて、解決に向けて一緒に考えあうことを基本にとりくんでいくことにしています。この3ヶ月間、全道各地から相談電話がかかって

きます。今のところ保護者からの相談が多く、子どもからは少ない状況です。相談内容は中学生のいじめ・不登校にかかわるものが多く、次に高校・大学の学費にかかわるもので、いずれも切羽詰まった窮状を訴える内容となっています。経済的理由で学ぶ権利が脅かされている、いじめ問題では、子ども・保護者と担任・学校との信頼関係が十分ではなく苦しんでいる状況が電話相談からも明らかになりました。これらのことから「人と人とのつながりが希薄になっているため、悩み・心配事を話し合える仲間がいないこと。子どもも親も教職員もゆとりのない生活を余儀なくされていること。貧困と就学問題については、本人が必要としている支援の制度・手立てが不十分であること。」を相談員で共通理解しました。

今後は、相談室の目的でもある「相談事例をもとに教育課題を教育現場に積極的に発信するとともに、子どもの人権を守るために教育施策・制度の改善に向けて意見反映をする」ことが緊急に求められていることだと思います。

●住所 〒060-0063 札幌市中央区南3西12
北海道教育会館

ひとりじゃ ないよ
フリーダイヤル 0120-130-714

●相談受付 木曜・金曜・土曜 14:00~18:00

●対象者 子ども・保護者

●相談分野 経済的理由による就学・修学の困難、学校における教育内容全般、対人関係の悩み 等

こ

当

地

自

慢

!



「サッポロピリカコタン」

札幌市南区小金湯 27

TEL 011-596-5961 FAX 011-596-5967

北海道には、二風谷をはじめ先住民族アイヌの歴史や生活・文化を学べる施設が各地にあります。札幌市中心部から車で40分で行ける、札幌市アイヌ文化交流センター「サッポロピリカコタン」は、その場で見て、触れて、体験できる施設となっており、アイヌ民族について学ぶとともに近くにある小金湯温泉や定山溪温泉で温泉につかり、すばらしい溪谷美も一緒に楽しむことができます。

<http://www.city.sapporo.jp/shimin/pirka-kotan/>